



5・6年生の児童ならびに保護者様に対し、今年度2学期末に「学年担任制アンケート調査」を実施させていただきました。

今回の学校だよりでは、それらの結果について報告すると共に、分析の考察と現時点で決まっている今後の方針についてお伝え致します。

【保護者アンケート】 配信対象数 202 件に対し、回答数 71 件（回答率 35%）でした

グラフに総数、表に割合を表しています

■ とても
そう思う

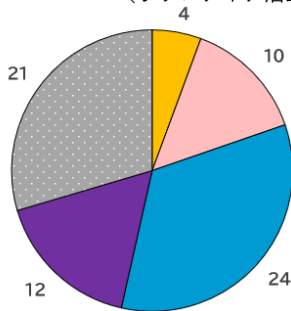
■ そう思う

■ どちらとも
言えない

■ そう思わない

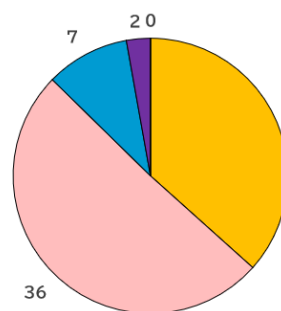
■ まったく
そう思わない

Q1. 自分は学校の教育支援に関する活動（ボランティア活動等）に関わっている



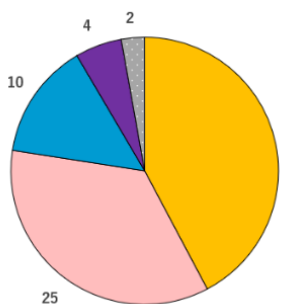
とてもそう思う	6%
そう思う	14%
どちらとも言えない	34%
そう思わない	17%
まったくそう思わない	30%

Q2. 自分の子供と、学校や教員の話をよくする



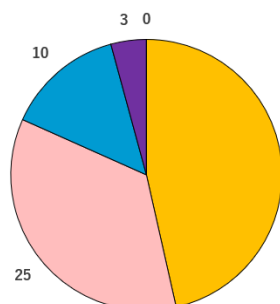
とてもそう思う	37%
そう思う	51%
どちらとも言えない	10%
そう思わない	3%
まったくそう思わない	0%

Q3. 学校生活を楽しいと感じているようだ



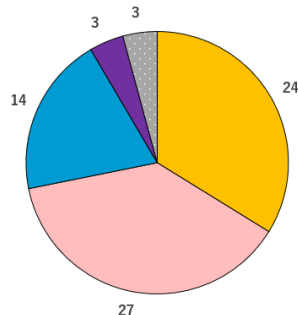
とてもそう思う	42%
そう思う	35%
どちらとも言えない	14%
そう思わない	6%
まったくそう思わない	3%

Q4. いろいろな教員たちと関わることができているようだ



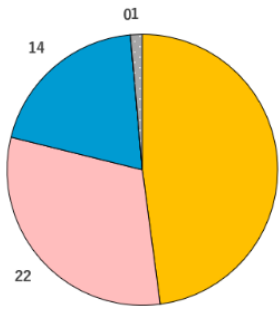
とてもそう思う	46%
そう思う	35%
どちらとも言えない	14%
そう思わない	4%
まったくそう思わない	0%

Q5. 質問や相談しやすい教員を見つけることができているようだ



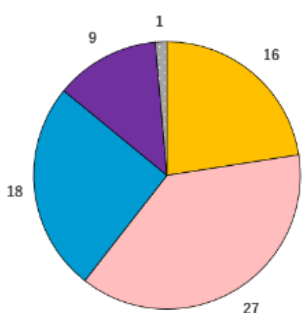
とてもそう思う	34%
そう思う	38%
どちらとも言えない	20%
そう思わない	4%
まったくそう思わない	4%

Q6. 子供が困ったことなどに、教員は丁寧に対応してくれているようだ



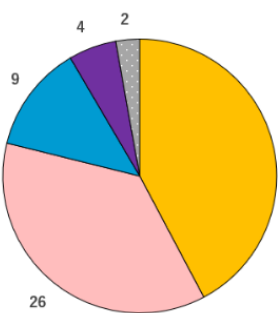
とてもそう思う	48%
そう思う	31%
どちらとも言えない	20%
そう思わない	0%
まったくそう思わない	1%

Q7. 授業中に、自分の考えや意見を言いやすいと感じているようだ



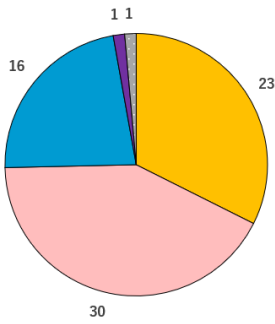
とてもそう思う	23%
そう思う	38%
どちらとも言えない	25%
そう思わない	13%
まったくそう思わない	1%

Q8. いろいろな教員の考え方に接することができているようだ



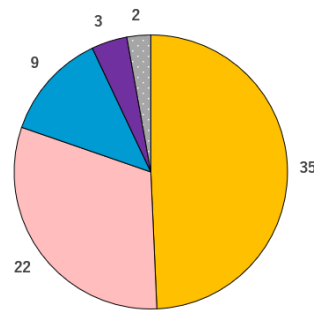
とてもそう思う	42%
そう思う	37%
どちらとも言えない	13%
そう思わない	6%
まったくそう思わない	3%

Q9. 授業が分かりやすいようだ



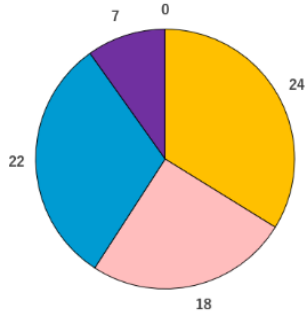
とてもそう思う	32%
そう思う	42%
どちらとも言えない	23%
そう思わない	1%
まったくそう思わない	1%

Q10. 教員はみんなで子供を育てようとしてくれているようだ



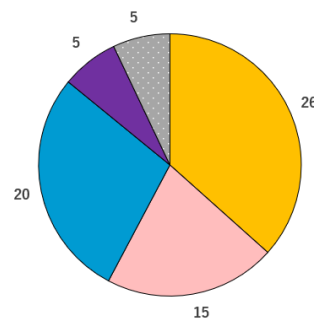
とてもそう思う	49%
そう思う	31%
どちらとも言えない	13%
そう思わない	4%
まったくそう思わない	3%

Q11. ご家庭での日常生活において、自立しつつある様子が感じられる



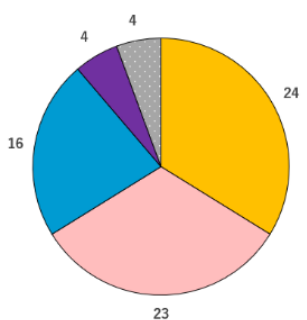
とてもそう思う	34%
そう思う	25%
どちらとも言えない	31%
そう思わない	10%
まったくそう思わない	0%

Q12. 学年（チーム）担任制はお子様にとって良い効果があるようだ



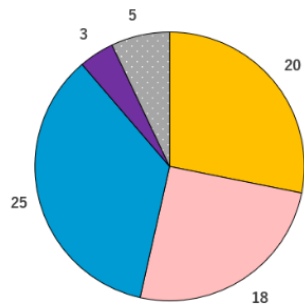
とてもそう思う	37%
そう思う	21%
どちらとも言えない	28%
そう思わない	7%
まったくそう思わない	7%

Q13. 子どもにとって相談しやすい教員がいるようだ



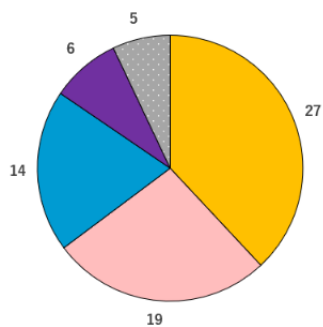
とてもそう思う	34%
そう思う	32%
どちらとも言えない	23%
そう思わない	6%
まったくそう思わない	6%

Q14. 自分（保護者の方）にとって相談しやすい教員がいる



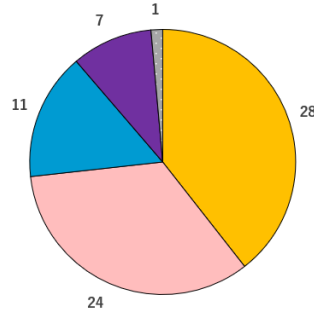
とてもそう思う	28%
そう思う	25%
どちらとも言えない	35%
そう思わない	4%
まったくそう思わない	7%

Q15. 複数の教員が対応するので安心できる



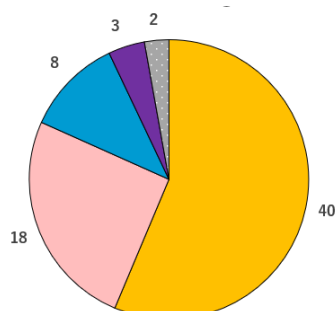
とてもそう思う	38%
そう思う	27%
どちらとも言えない	20%
そう思わない	8%
まったくそう思わない	7%

Q16. 教員を信頼できると感じる



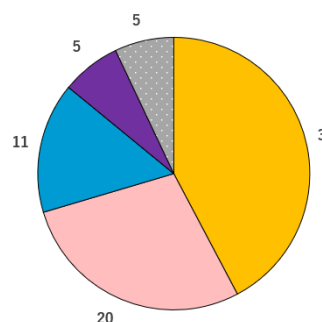
とてもそう思う	39%
そう思う	34%
どちらとも言えない	15%
そう思わない	10%
まったくそう思わない	1%

Q17. 学年（チーム）担任制の説明を十分に受けた



とてもそう思う	56%
そう思う	25%
どちらとも言えない	11%
そう思わない	4%
まったくそう思わない	3%

Q18. 学年（チーム）担任制は良い取組だと思う



とてもそう思う	42%
そう思う	28%
どちらとも言えない	15%
そう思わない	7%
まったくそう思わない	7%

《記述意見》一部、要約して紹介

- 色々な先生に変わる 1 年間の方が、我が子の気持ちは安定しているように思った。担任以外に相談できる人がいるので、安心できる。
 - 最初は不安だったが、いろんな先生に見てもらえるので、本人も私も良い取り組みだと思っている。
 - 担任の「合う」「合わない」があるので、交代することで平等感がある制度だと思う。時期が来れば気持ちを切り替えることができていた。
 - 子供にとっては、とても良い。たくさんの目で見てもらえるというのは安心。3クラスを4人で見る体制を、神戸市中で行ってほしい。
 - クラスの中だるみが防げて良いと思う。いろいろな先生に見てもらえることは、それだけアプローチの方向も増えることなので、このまま続けてほしい。説明会では、反対意見も出たが、教科ごと月ごとに教師が変わり、どの先生も子供のことを知ってくれている状態は、学校全体で子供を育てるということに繋がっており安心感がある。
 - 個別懇談が指名制なので、調整など労力がかかるだろうなと思うことはある。ただ、子供にとっては色々な考え方や手法の先生たちに触れて、刺激もありつつ良い時間をすごせていると思う。是非、引き続きこの取り組みを進めていってほしいと思う。
 - 担任との相性もあるので、学校の中で1人でも信頼できる先生がいてくれると親子共々安心できる。
 - 学年団の先生たちは、いつも真剣に対応してくれていた。
-
- 担任の期間が短いので、慣れる前に交代してしまう感じがする。子供にとって良いのかどうかは分からない。先生方にとっては、全体を見るために責任感も出るし、いろんな先生方に相談できるところは良いと思う。
 - 休み時間の様子など、友達関係の問題を把握するのが難しいのでは。低学年は向かないシステムだと思う。
 - 担当する期間は、学年の先生で同じ長さにしてほしい。
 - 個別懇談は、指名ではなく 11 月・12 月の時の担任でよいのでは。
 - 学年でフリーの先生がいることは良いと思う。多くの先生が目でみるのが目的であれば、教科担任制で十分な気がする。「話しやすい先生に」と言われても、指名はしづらい。責任感という点でも薄れるのでは。
-
- 「1 か月で担任交代は早い」と子供が言っている。保護者も学校の様子が分からないので、以前より関心が薄れた。
 - 今の担任がどの先生なのか、ほぼ把握できずに 1 年が終わりそう。子供も少し混乱しているようだった。1 年間の交代制はめまぐるしく、中学校のように 3 年間をかけてようやく慣れるものなのでは。
 - 親としては、何がメリットで、何を目指しているのか全く理解していない。小学校で導入すべき制度なのか疑問。導入の意義が分からない。保護者に対する説明も不十分なのでは。
 - 大事な相談や面談は、対応力のある先生に偏る。情報共有ができていないことも気になった。
 - 引継ぎや欠席した際の宿題やテストの連絡ミスがあった。チーム感を感じられなかった。
 - 今、どの先生が担任なのか把握するのが大変で、子供に聞かないと分からない。そういったわずらわしさから、聞きたいことがあっても躊躇してしまうことがあった。
 - 困った時、先生に言おうか悩んでいる時に担任の先生が変わってしまった。親も相談したい時に、先生に相談しても次の週には変わってしまう状況だった。教科担任制は賛成だが、学年担任制は反対。
 - 教員側には、急遽休む際などに他の教員でカバーするなどの体制が整っているメリットがあるのかもしれないが、魅力を感じない取り組みであると思う。

【児童アンケート】 左は7月に 右は12月に学校で実施したものです。(欠席状況等により総数に違いがあります)

グラフに総数、表に割合を表しています

■ とても
そう思う

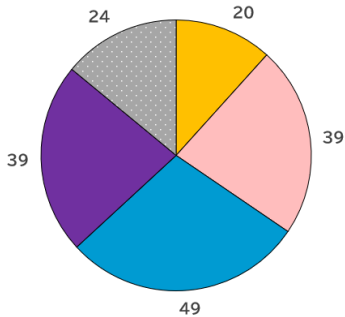
■ そう思う

■ どちらとも
言えない

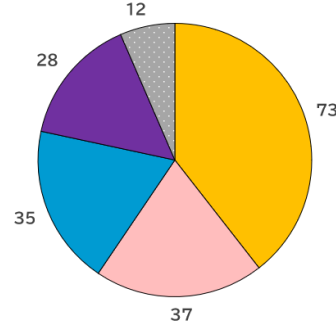
■ そう思わない

■ まったく
そう思わない

Q1. 担任の先生が変わっても、クラスのルールは変わらない

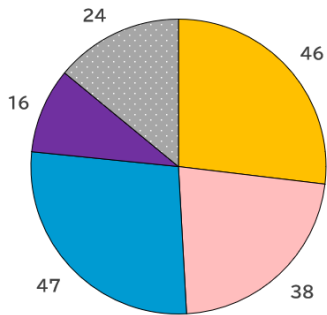


とてもそう思う	12%
そう思う	23%
どちらとも言えない	29%
そう思わない	23%
まったくそう思わない	14%

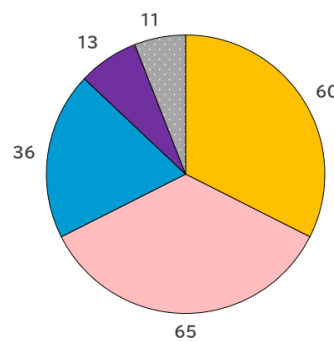


とてもそう思う	39%
そう思う	20%
どちらとも言えない	19%
そう思わない	15%
まったくそう思わない	6%

Q2. 学校での勉強は楽しい

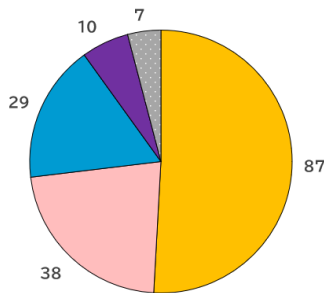


とてもそう思う	27%
そう思う	22%
どちらとも言えない	27%
そう思わない	9%
まったくそう思わない	14%

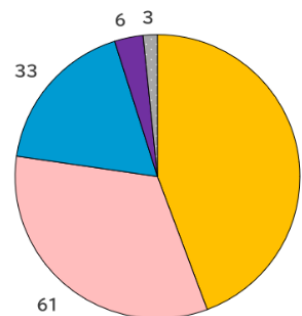


とてもそう思う	32%
そう思う	35%
どちらとも言えない	19%
そう思わない	7%
まったくそう思わない	6%

Q3. 先生たちは分かりやすく授業をしてくれる

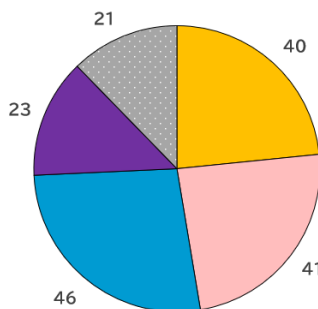


とてもそう思う	51%
そう思う	22%
どちらとも言えない	17%
そう思わない	6%
まったくそう思わない	4%

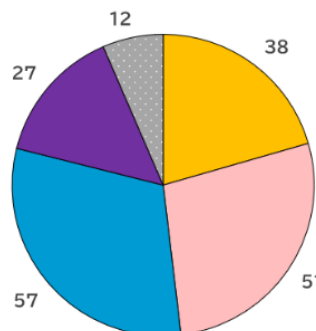


とてもそう思う	44%
そう思う	33%
どちらとも言えない	18%
そう思わない	3%
まったくそう思わない	2%

Q4. 授業の場面で、自分の考えや意見を言いやすいと感じる

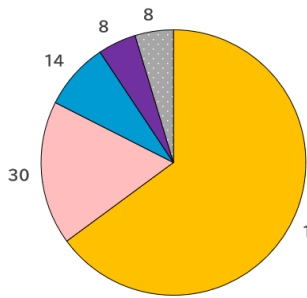


とてもそう思う	23%
そう思う	24%
どちらとも言えない	27%
そう思わない	13%
まったくそう思わない	12%

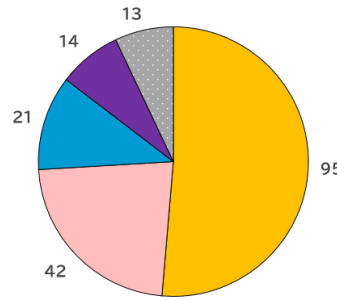


とてもそう思う	21%
そう思う	28%
どちらとも言えない	31%
そう思わない	15%
まったくそう思わない	6%

Q5. 自分のクラスは過ごしやすい

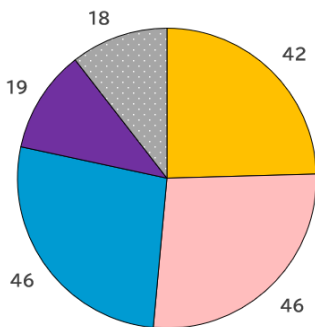


とてもそう思う	65%
そう思う	18%
どちらとも言えない	8%
そう思わない	5%
まったくそう思わない	5%

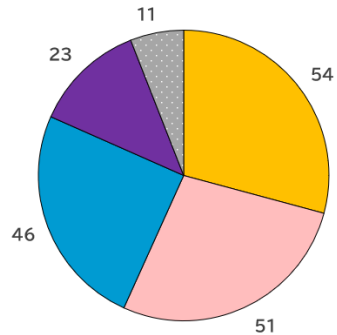


とてもそう思う	51%
そう思う	23%
どちらとも言えない	11%
そう思わない	8%
まったくそう思わない	7%

Q6. 友達との関係で困ったことがあるときは、先生に頼らずに解決しようと思う

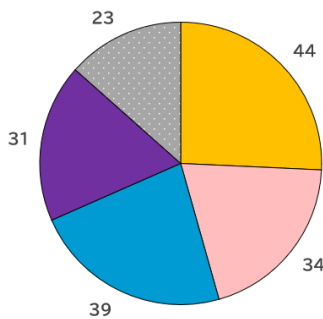


とてもそう思う	25%
そう思う	27%
どちらとも言えない	27%
そう思わない	11%
まったくそう思わない	11%

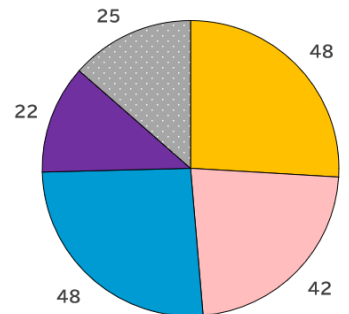


とてもそう思う	25%
そう思う	25%
どちらとも言えない	30%
そう思わない	11%
まったくそう思わない	9%

Q7. 友達との関係で困ったことがあるときは、頼れる先生に相談して解決しようと思う

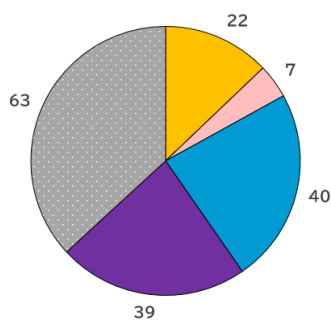


とてもそう思う	26%
そう思う	20%
どちらとも言えない	23%
そう思わない	18%
まったくそう思わない	13%

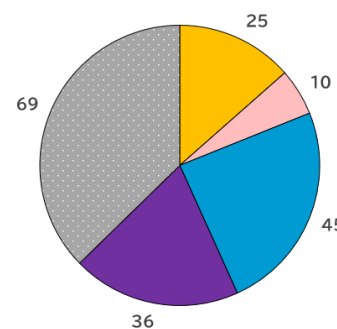


とてもそう思う	26%
そう思う	23%
どちらとも言えない	26%
そう思わない	12%
まったくそう思わない	14%

Q8. 友達との関係で困ったことがあるときは、先生が声をかけてくれるまで待とうと思う

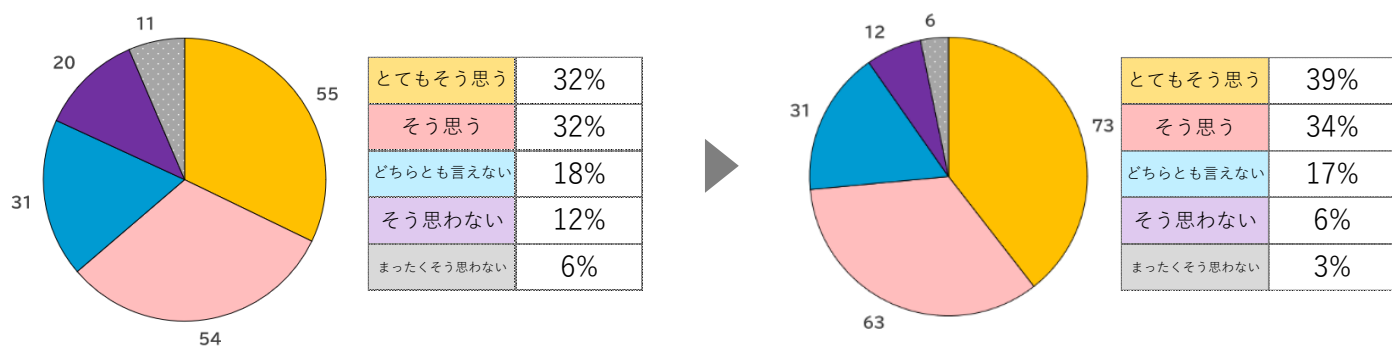


とてもそう思う	13%
そう思う	4%
どちらとも言えない	23%
そう思わない	23%
まったくそう思わない	37%

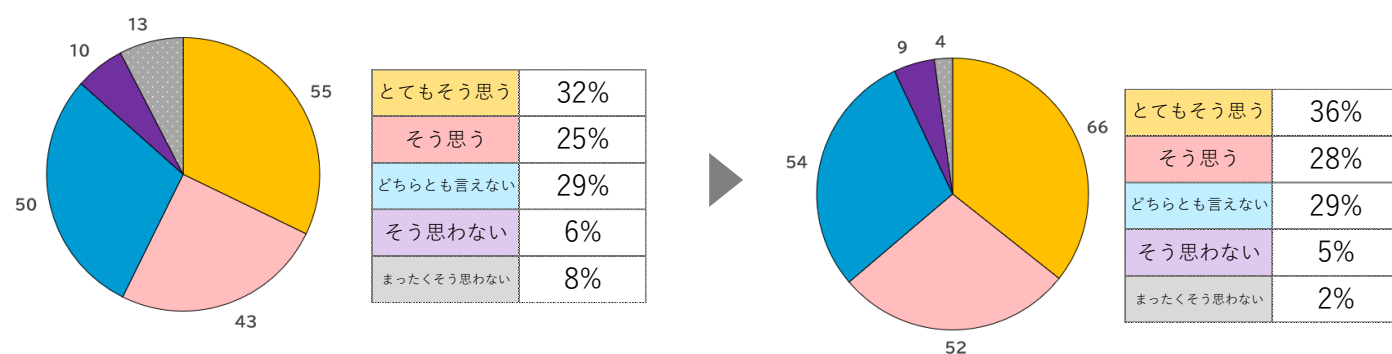


とてもそう思う	14%
そう思う	5%
どちらとも言えない	24%
そう思わない	19%
まったくそう思わない	37%

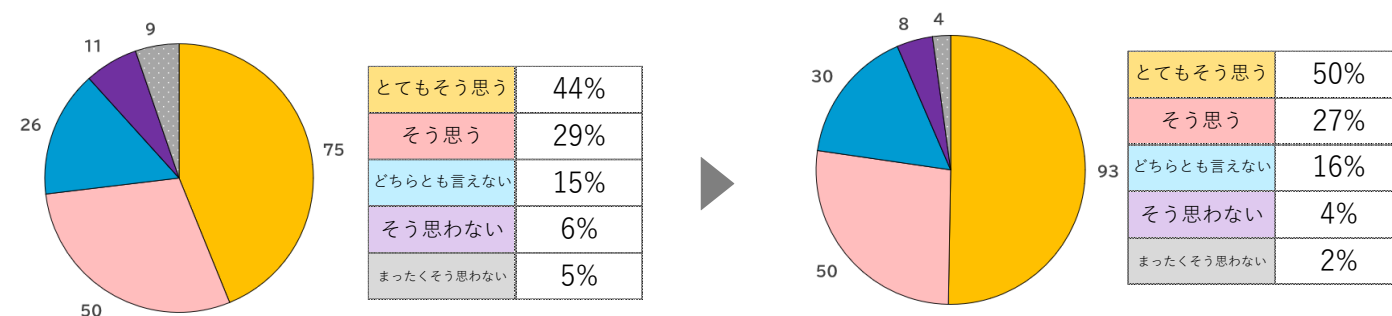
Q9. 自分は、色々な先生たちと関わっている



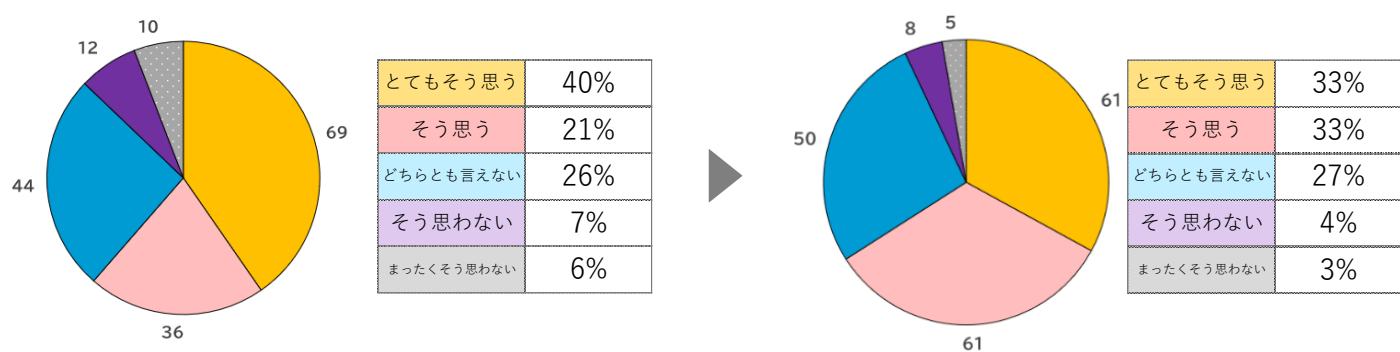
Q10. 先生たちは、それぞれ自分に関わってくれる



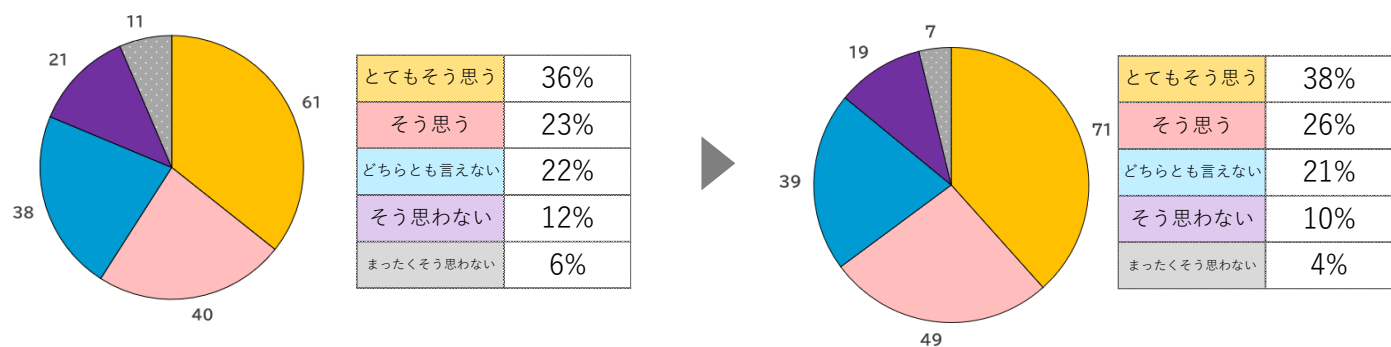
Q11. 色々な先生の良さが分かる



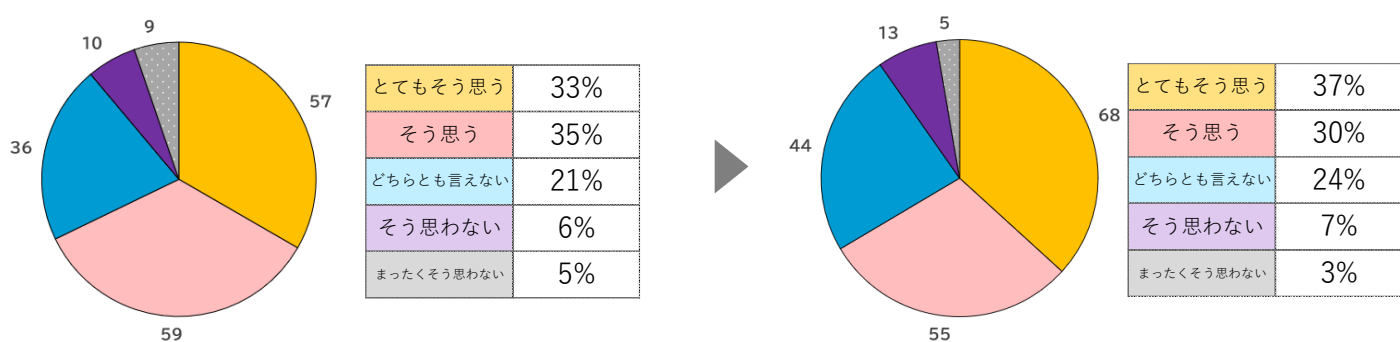
Q12. 先生たちはみんなで、自分を育てようとしてくれていると思う



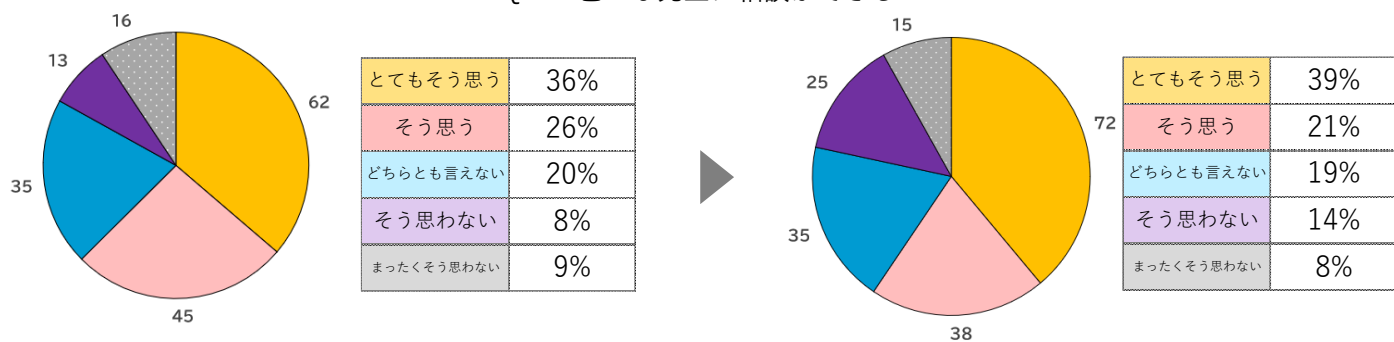
Q13. クラスでの活動を通じて、色々な先生の方考え方に接することができる



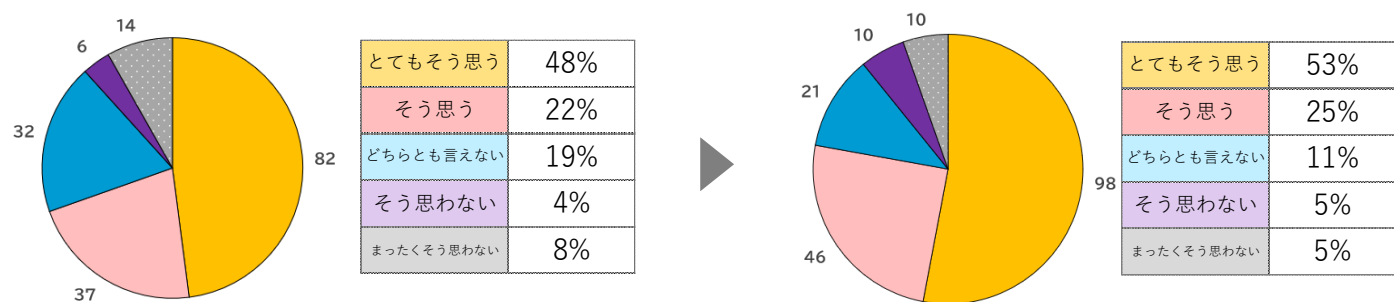
Q14. 先生たちは、いつも自分たちの言うことに耳を傾けてくれる



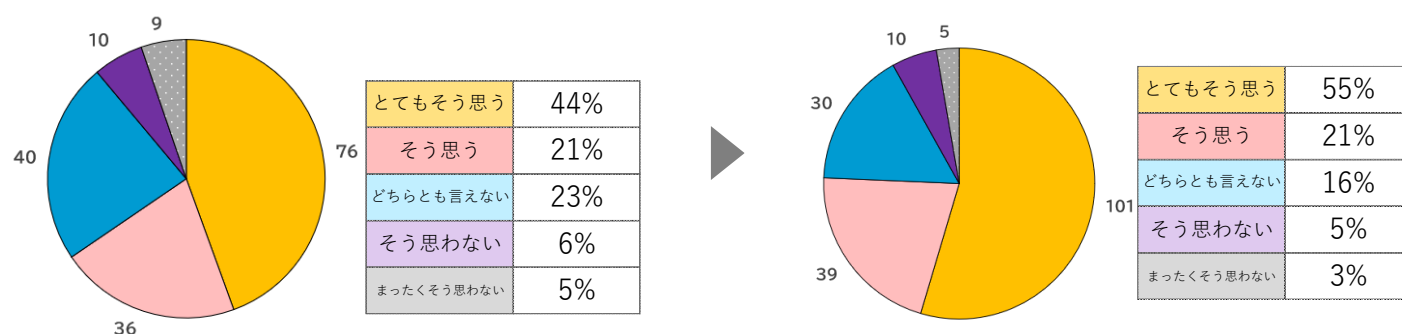
Q15. 色々な先生に相談ができる



Q16. 先生たちは信頼できる



Q17. 自分のことを理解してくれる先生がいる



《分析結果より大学からいただいた助言》

【保護者アンケート分析より】

- ・ボランティア等に関わっているといった、学校との関係の程度が大きいほど、学年（チーム）担任制について肯定的に捉えている傾向が高い。
- ・保護者が、我が子と学校や教員のことを話す程度が大きいほど、肯定的に捉えている傾向が高い。

【児童アンケート分析より】

- ・「わかりやすい授業」「先生との関わり」に相関が多く、子供から先生への関わりやすさよりも、多くの先生に見守ってもらえている、という安心感の醸成の方がまずは大切であるといえる。

【全体の考察】

- ・学年（チーム）担任制は、そもそも目覚ましい効果が出るような取り組みではないと考えている。はじめは変化が大きいので肯定的意見が目立つ場合があるが、実施が進むにつれ落ち着いてくると、「普通」と感じるようになる傾向がでてきて、肯定的意見は減少する場合がある。これに伴い、否定的意見も減少している場合は、取り組みの成果と考えてよい。肯定的意見の変化のみにとらわれるのではなく、否定的意見の変化にも注目することが重要である。
- ・保護者が学校の情報、教育実践を入手しやすいように「ご自身の目で見いただく機会」を増やしていくことが重要である。

《令和6年度へ向けて》

本校の5・6年生における「学年（チーム）担任制」の取り組みへのご理解、誠にありがとうございます。全国的にも例が少ない取り組みであるため、子供たちや保護者様の中には少なからず不安を抱いている方もおられたことと存じます。5・6年生の担任団は、子供たちに寄り添い、保護者の皆様に安心していただけるように日々、全力で向き合っていたと感じています。アンケートの結果からも成果として表れていた項目も多くありました。一方で課題の残る問題や、至らぬ点もありました。今年度、子供たちや保護者様からいただいたご意見、教職員へのアンケート等を真摯に受け止め、「学年担任制」のシステムの中でも子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう努めていきます。

令和6年度も神戸市のモデル指定校として「学年担任制」を5・6年生において実施する方針です。ご理解・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

これらの調査結果については、許可なく複製・転載・記載内容を使用することを禁止します